

決算説明資料

2023年11月22日

ブルドックソース株式会社

証券コード:2804



		D 0
1	2024年3月期 第2四半期決算について ―	P3
⊥.		

\circ		D 1	ᄃ
۷.	2024年3月期 通期業績予想	Г	J



1 2024年3月期 第2四半期決算について

決算ハイライト



2024年3月期第2四半期 実績

- 売上高は前年同期比9.0%増の72.5億円
 - 国内:前年同期比8.5%増の69.8億円 昨年に引き続き外食、イベント等の回復に伴う需要増により業務用ソースが好調に推移 前年度(2022年8月)の&Bull-Dogドレッシングリニューアルによりドレッシングが好調に推移
 - 海外:前年同期比23.3%増の2.7億円 北米、欧州向け輸出が好調に推移
- 営業利益は前年同期比141.0%増の3.6億円
 - 価格改定の影響で減少していた販売数量の回復による売上高の増加に伴い増益
- 経常利益は前年同期比13.2%減の4.8億円
 - 営業利益は増加したものの、前第2四半期連結累計期間に投資有価証券売却益の計上があったため減益
- 親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比85.4%減の0.5億円
 - 事業再構築費用2.5億円と鳩ケ谷工場生産終了に伴う減損損失0.8億円を計上したため減益

重要な取り組み

- ホッとするおいしさをこれからもお届けするために、54年ぶりに 主力のウスター、中濃、とんかつソースを大幅リニューアル [2023年9月]
 ・ お客様の声を反映し、「開けやすく」「持ちやすく」「使いやすく」誰もが使いやすい、環境に配慮した容器へ
- 新しい発想、新しい価値で世界のSauceを創造することを目的としたTATEBAYASHIクリエイションセンター完工 [2023年12月]
 - 2024年1月本格始動

トピックス

- 人的資本に関する戦略(人財育成方針、人財戦略)を策定 [2023年6月]
- 120周年を契機としたSDGsに係る支援活動を実施 [2023年5月、8月]
 - ・全国のこども食堂を支援・川口市地球温暖化対策基金・規格外野菜の食品ロス削減に貢献
- 1935年より88年間稼働した鳩ケ谷工場の生産を終了 [2023年9月]
- 54年ぶりに四角から丸い容器へリニューアル、駅構内(札幌・仙台・東京)、Tver等広告によるプロモーションを展開 [2023年9月、10月]

レギュラーソースリニューアル



四角い容器は54年もの間、皆さまの食卓に寄り添い続けてきました

1905

1969

2006

2023

ソース製造開始

角ボトル容器発売

従来のPETボトル容器

新容器へ



ソースの容器は長い間 樽、かめ、瓶に限られていた。



軽量・簡便な角ボトル "ブルパック"を新発売。 大量消費に適した新資材として ポリ塩化ビニル容器が採用された。



角ボトルの形はそのままに、 従来のPET素材に変更。 さらなる安全・安心を目指し 添加物不使用に。 (カラメル色素(着色料)・ 増粘剤・甘味料不使用)



おいしさはそのままに お客様のお声を反映し 「開けやすく」「持ちやすく」 「使いやすく」 誰もが使いやすい、 環境に配慮した容器へ。

時代によって変化する食生活やニーズに合わせ、おいしさを追及すると同時に容器も変化

レギュラーソースリニューアル



ホッとするおいしさを次の100年につなぐために

お客様のお声に応える

愛され続けてきたおいしさはそのままに

「開けやすく」

「持ちやすく」

「使いやすく」

誰もが使いやすい容器に

開発背景

顧客ニーズ の充足 SDGs への貢献

SDGsへの取り組みを加速

SDGsへの取り組みは 今後益々求められるようになり、 主力商品での取り組みを はじめとして今後も加速



レギュラーソースリニューアル



お客様の利便性



【キャップ】 中栓をなくし ワンタッチで開封 液だれ・液汚れしにくい



ソース点字

握り心地が 良い容器 はがしやすい ラベル

パッケージの表記見直し

- ●アレルゲンの別枠表示を追加
- ●大さじ1杯(約18g) あたりの栄養成分表示
- ●サイトへのQRコードを追加

RENEWAL

環境に配慮した サステナブルパッケージに変更



環境配慮

容器プラスチック使用量を **20**%削減

ラベルに バイオマスインキ使用



ボトルに リサイクルPETを使用



おいしさはそのままに、品質にもこだわり

自然の恵み(野菜・果実) を活かした味わい 添加物(着色料・ 増粘剤・甘味料)不使用 こだわりの スパイスを使用

企業価値を最大化させるための戦略投資計画



2023.12

TATEBAYASHI クリエイションセンター完工 2024.1

本格始動

持続可能な商品を提供

TATEBAYASHIクリエイションセンター

研究開発

生産

品質保証

物流

TATEBAYASHIクリエイションセンターは新しい発 想、新しい価値で世界のSauceを創造することを目 的に始動。ブルドックグループが100年先も持続可 能な商品を提供できるよう研究開発・生産・品質保 証・物流の力をつなぐ価値創造拠点に生まれ変わり ます

2023.9

鳩ケ谷工場生産終了



鳩ケ谷工場の跡地活用については、地域と 連携しながら、資産価値・ブランド価値最 大化を図る取り組みを検討中



VCの旗艦部門である館林工場を、生産だ けではなく商品に関わる機能を集約し、価 値を生み出すTATEBAYASHIクリエイショ ンセンターとして位置づける

TATEBAYASHIクリエイションセンター



新しい発想、新しい価値で世界のSauceを創造する

Sauceの製造だけでなく 生産の改革や新たな基礎研究、 新たな物流システム等に取り組む 持続的な成長を実現する

価値の創造拠点





Sauceの知識・情報を発信する 工場見学施設



できたてのおいしさが 楽しめる社員食堂

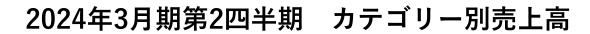


環境配慮設計:年間想定使用電力量の 約10%を太陽光にて発電





	2023.3期2Q		2024.3期2Q	
(単位:百万円)	実績	実績	増減額	増減率
売上高	6,656	7,257	601	9.0%
売上原価	4,489	4,846	356	7.9%
売上原価率	67.4%	66.8%	_	_
売上総利益	2,166	2,411	244	11.3%
売上総利益率	32.6%	33.2%	_	_
販売費及び一般管理費	2,016	2,049	33	1.6%
販管費率	30.3%	28.2%	_	_
営業利益	150	361	211	141.0%
営業利益率	2.3%	5.0%	_	_
経常利益	559	485	△74	△13.2 %
経常利益率	8.4%	6.7%	_	_
親会社株主に帰属する四半期純利益	361	52	△308	△85.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益率	5.4%	0.7%	_	_
EPS (円)	27.10	3.95	△23.15	△85.4%
一株配当(円)	17.00	17.00	_	_
配当性向(%)	62.7%	430.4%	_	_
設備投資額	464	322	△142	△30.6%
減価償却費	360	398	38	10.6%
EBITDA(営業利益+減価償却費)	510	760	249	48.9%





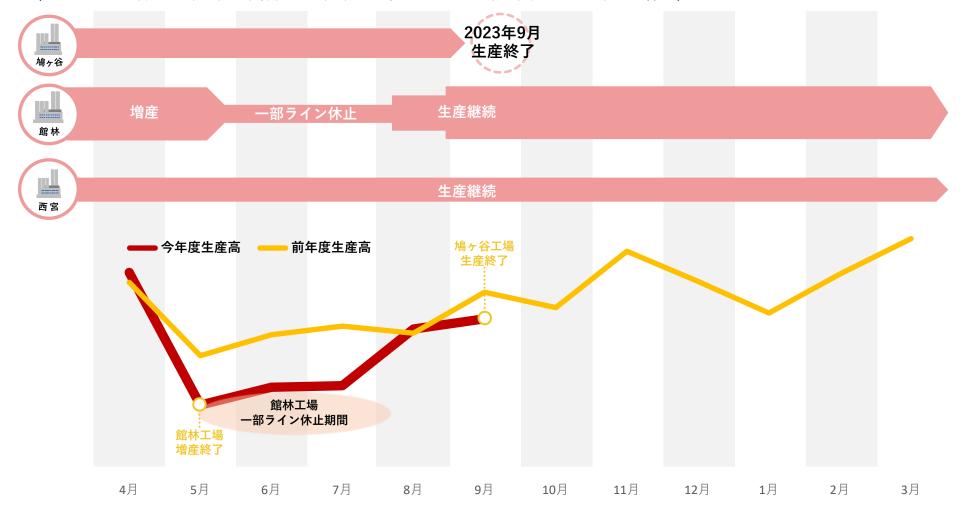
				7 4 3 4 1						
	(単位:百万円)			実績	実績	構成比	増減率	コメント		
	家庭	用ソ	ー ス	3,889	4,153	57.2%	6.8%	● 価格改定の影響で減少していた販売数量か 回復基調にあり好調に推移		
	業務	用ソ	ー ス	1,623	1,845	25.4%	13.7%	昨年に引き続き外食、イベント等の回復に伴う需要増により好調に推移		
国内商品	- -	ドレッシ た れ		617	702	9.7%	13.7%	前年度(2022年8月)の&Bull-Dogドレッシングリニューアルにより好調に推移		
品	家 庭 用	そ の) 他	306	285	3.9%	△7.0%	外食機会の増加や中食への需要流出により 月島もんじゃ焼(量販用)が低調に推移		
	計			6,437	6,987	96.2%	8.5%			
	輸出 家庭用・業務用ソース			177	222	3.1%	25.8%	• 北米、欧州向け輸出が好調に推移		
海外商品	現地法人(上海・新規)			42	47	0.7%	12.8%	● 新規顧客獲得により好調に推移		
	計			219	270	3.8%	23.3%			
合計			6,656	7,257	100.0%	9.0%				

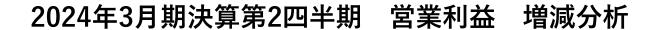
生産体制再構築に伴う工場生産状況



■ 生産体制再構築に伴う生産ライン休止期間があるため今年度の生産高は減少

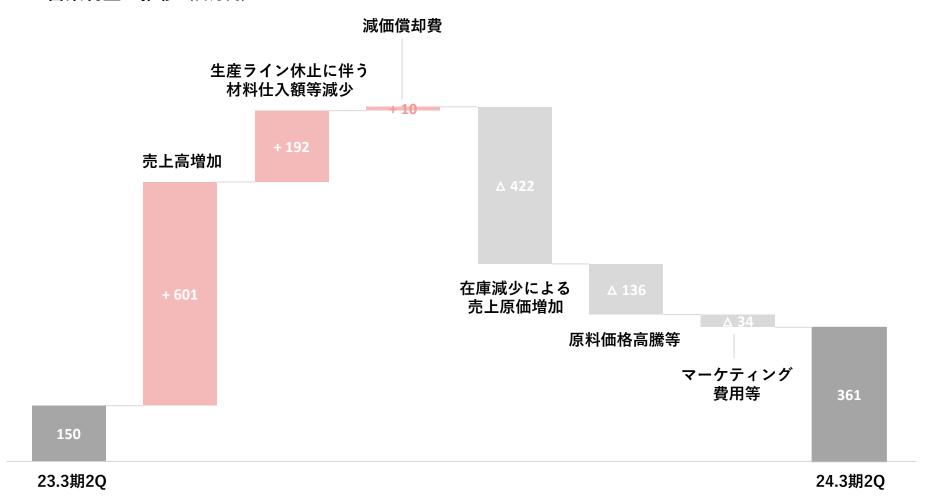
(生産ライン休止期間中の商品安定供給に対応するため前年度の生産高は増加)







■ 営業利益の推移(百万円)



2024年3月期第2四半期決算 BS及びCF



	2023.3期	2024.3	B期2Q
(単位:百万円)	実績	実績	差額
流動資産	12,625	8,200	△4,424
固定資産	23,675	24,398	722
資産合計	36,300	32,599	△3,701
流動負債	9,338	4,781	△4,557
固定負債	6,704	6,765	60
負債合計	16,043	11,546	△4,496
純資産額	20,257	21,052	795
負債純資産合計	36,300	32,599	△3,701
自己資本比率	55.8%	64.6%	8.8%

	2023.3期2Q	2024.3	朝2Q
(単位:百万円)	実績	実績	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	297	△570	△867
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,278	△3,862	△583
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,207	△292	△2,500
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	2	△4
現金及び現金同等物の増減額	△766	△4,723	△3,956
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	65	_	△65
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,669	1,207	△2,461



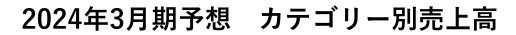
2 2024年3月期 通期業績予想







(W	2023.3期		2024.3期	
(単位:百万円)	実績	予想	増減額	増減率
売上高	13,529	14,230	700	5.2%
営業利益	430	400	△30	△7.2%
営業利益率	3.2%	2.8%	_	_
経常利益	1,234	550	△684	△55.5%
経常利益率	9.1%	3.9%	_	_
親会社株主に帰属する当期純利益	595	50	△545	△91.6%
親会社株主に帰属する当期純利益率	4.4%	0.4%	_	_
EPS (円)	44.64	3.75	△40.89	△91.6%
一株配当(円)	35.00	35.00	_	_
配当性向(%)	78.4%	934.2%	_	_
設備投資額	4,815	1,377	△3,438	△71.4%
減価償却費	743	947	204	27.6%
EBITDA(営業利益+減価償却費)	1,173	1,347	173	14.8%



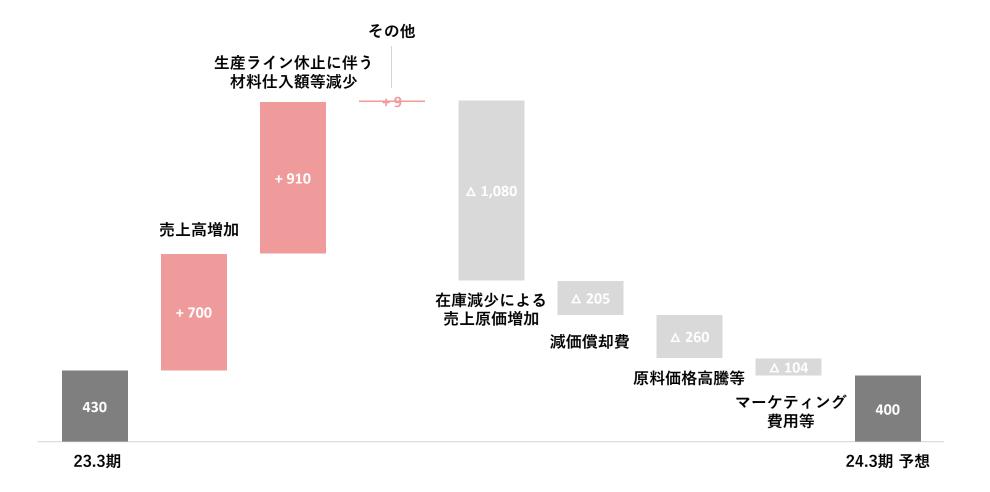


	2023.3期			2024.3期		- 25.1						
	(単位:百万円)			実績	予想	構成比	増減率	コメント				
国内商品	家	庭	用	ソ	_	ス	7,996	8,290	58.3%	3.7%	主力商品の新容器の認知拡大に向けたプロモー ションの実施	
	業	務	用	ソ	_	ス	3,286	3,520	24.7%	7.1%	● 付加価値提案による新規ユーザー及び新規メ ニュー獲得	
	家庭	= =	至 用	ドした	レッコ	シンれ	グ・ 等	1,207	1,290	9.1%	6.8%	新商品発売商品認知拡大に向けた消費者プロモーションの維続及び強化
	(ソース)		そ	(ග	他	598	580	4.1%	△3.1%	● 他業種との連携による材料セット消費拡大プロ モーション実施	
			=	†			13,089	13,680	96.1%	4.5%		
	輸出 家庭用・業務用ソース				ース	360	450	3.2%	24.8%	売上が伸長している米国を中心に業務用ソースの 売上拡大		
海外商品	現地法人(上海・新規)				規)	79	100	0.7%	25.6%	上海現地法人認知拡大現地顧客の開拓強化		
計			440	550	3.9%	25.0%						
合計					13,529	14,230	100.0%	5.2%				

2024年3月期予想 営業利益 増減分析



■ 営業利益の推移予想(百万円)



24年3月期施策の進捗



下期の見通し・施策 上期の進捗・成果 24.3期施策 ■ ソースの汎用性を伝える 「ソースはかけるだけじゃない!」 • 新商品サイトの充実 ブランドサイトを構築 をテーマにサイトをリリース ■ エリア別マーケティング戦略に 東西エリア別のマーケティング戦略に イカリソース「THE大阪」シリーズ 基づく販売実施。西日本売上伸長。 定番店舗拡大 基づいた営業活動 内 ■ 使用機会拡大を目的とした 新容器レギュラーリニューアル認知及び アンバサダーによるレシピ投稿、 消費者プロモーション実施 商品価値訴求の為、動画広告を配信 イベント出店で試食・サンプリング 外食企業、加工メーカー等のユーザー ■ 業態別提案強化 新商品による外食店向け提案強化 ニーズに合わせた提案、新商品投入 現地マーケティング活動の強化 海 ■ ターゲットエリア選定・ルート開拓 ターゲット国またはエリア抽出に向けた ターゲット国またはエリアにおける 調査及び情報収集 参入戦略の策定 に向けた調査・整備 ■ 家庭用商品:環境に配慮した ワンウエイプラスチックの使用量削減 環境配慮素材の採用(容器・ラベル・段ボール) サステナブルパッケージへの変更 実績13%(101アイテム中13アイテム実施) (主力商品22.3期比10%削減見込) • イカリソースNB商品35アイテムの賞味期 ■ 賞味期限の年月表示を拡大 限を年月表示に変更(2023年12月予定) V 人的資本に関する戦略(人財育成方針、 ■ 人財育成方針の策定 戦略に基づき社内教育を実施 人財戦略)を策定

2024年1月稼働に向けたシステム構築

太陽光パネル設置

■ 新システム導入による生産性の向上

■ TATEBAYASHIクリエイションセンターに

自動化省力化による労務費削減

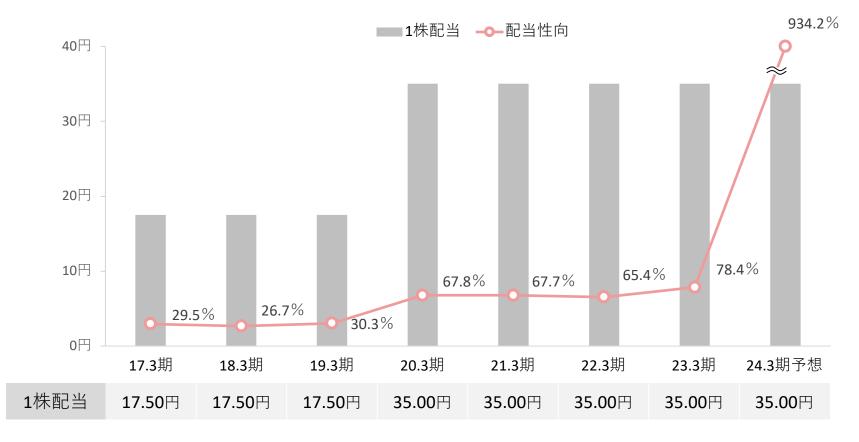
太陽光パネル設置(2024年3月稼働予定)

(2024年1月稼働予定)

株主還元



- 24.3期は1株配当35円の安定配当を継続予定
- 配当性向は934.2%を予定



※19.3期以前の数値は以下の株式併合・分割を換算して修正

・株式併合:2016年10月1日付で10株→1株 ・株式分割:2019年8月1日付で1株→2株



3 参考資料



会社概要



商 号	ブルドックソース株式会社 [英文名]BULL-DOG SAUCE CO.,LTD.
創業	1902(明治35)年:食料品卸商三澤屋商店を開業 (1905年:ソースの製造・販売を開始)
設 立	1926(大正15)年 9月21日
事業内容	ソース、その他調味料の製造・販売
資 本 金	10.4億円[2023年3月期]
従業員数	連結:318名 [2023年3月末現在]
売 上 高	連結:135億円[2023年3月期]
関連会社	 イカリソース株式会社(100%出資) 株式会社Bullフーズ(100%出資) サンフーズ株式会社(100%出資) 富留得客食品(上海)有限公司(100%出資)

財務データ推移



(百万円)

	19.3期	20.3期	21.3期	22.3期	23.3期	24.3期予想
売上高	17,010	17,235	17,708	13,300	13,529	14,230
営業利益	430	639	721	651	430	400
経常利益	1,020	1,040	985	1,013	1,234	550
ROE	3.8%	3.5%	3.4%	3.5%	2.9%	0.2%
EBITDA	1,318	1,276	1,435	1,360	1,173	1,347

業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。 また、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。

その他留意事項

資料内数値は百万円未満を切捨て表示し、百分率は元データから算出しております。